



寒威每百酷

一海内健捷以夜集力為の家

事多之... 我思之拉

三月九日... 末日... 海陸

... 拉

善... 拉

誠... 何... 拉

... 拉

... 拉

... 拉

... 拉

... 拉

... 拉

事とあり、是れも十分由約の
情勢と波瀾し而して
臣民の惡化と政の天下の
耳目と一新し、立憲政治
の美と晒し人々を
悦服せしむるの美果

あらん

こと直樹の如きならんより
隨て民衆及び我者の帯、即ち
心まゝならん、事件をせん
政府を以て其脚筋を以てし
もの如きは、はるる世に
ありとるも、字の者の事
餘り考案を以て、言を以て
何れか、はるる、年表の
宿志、字の者の整理、然しては
言を以て、如きもの、年表、
移し、はるる、
是れ、神、為、國家、の、自由、を、是、は、
七月、丁、丑、日、
年

恒後ちししむむのの書書果果

あらん

しと直林の切望する可なり

隨て民量及ぶ我者の常に印誦

しまままららしし事事件件ししんん 楚ま楚ま

正府を以て其御願ごんなりし

もの如きははい若く世帯り

の如くなる字田省の事こと

除く所考案を又之を其傳

何少の事ことなりし年ねん來きたの

宿志字田省の整理に就ては

意を書の如きもの年ねん來きたに從

務つとむ知勉強けんきやうしんしんんん

是れ其れが國家の自量に是れ務

七月二十五日

年

直林

大隈大元海

東京永田町二丁目十二番地
大隈重信殿
要親展



緘

佐賀縣鹿島

鍋

島

直

彬

〃